

日 本 史

(問 題)

2013年度

〈2013 H25071119〉

注 意 事 項

1. 問題冊子は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は2～11ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、マーク解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙の受験番号を確認したうえ、試験開始の指示があってから、所定欄に氏名のみを正確にていねいに記入すること。
5. マーク欄は、はっきり記入すること。また、訂正する場合は、消しゴムでていねいに、消し残しがないようよく消すこと（砂消しゴムは使用しないこと）。

マークする時	☒ 良い	☐ 悪い	☐ 悪い
マークを消す時	☐ 良い	☐ 悪い	☐ 悪い

6. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

I 次の文章を読み、問1～8に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。

現在、米が日本人の主食として知られるのは、大陸から渡来した人々^aによってもたらされた新しい農耕文化が定着した結果である。食用植物の栽培そのものは、すでに縄文時代から始まっていた可能性があるが、生産性の優れた水田稲作の普及は、日本列島を食料採集段階から生産段階に変革した「農業革命」にあたるという評価がみられるだけでなく、米を中心とした独自の文化や政治・経済的な特徴を発展させることにつながった。

弥生時代から古墳時代にかけて、年の始めに稲の豊作を祈るといった農耕に関連する祭りや儀礼が発達し、さらに7世紀後半から8世紀にかけては、民衆への田の分配および収穫した稲を税として徴収する全国的な制度が整備され、国家が土地と人の支配を強めるようになった。稲作を支配の土台とするという点では、平安時代から中世へと成長する地方有力者も同様で、各時代・各地域の有力者や領主たちは米の生産力向上をめざした。

しかしながら、原始・古代において、日本列島における農業が水田稲作に集約され、人々が米を常食とするようになったわけではない。9世紀に東寺領として丹波国に成立した荘園大山荘を例にあげると、平安時代数百年を通じた用水・耕地開発の努力にも関わらず、地形の制約から技術的な困難が多く、未開発のままに残された土地が少なくない。関連資料からは、12世紀前半に至っても水田より畠地の方が面積が広く、耕作率の高い実態がうかがえる。

多くの民衆にとって米が常食できるようになったのは、はるか後の近世・近代に入ってからと推定されており、文字どおりの「主食」とするために長い年月にわたる努力が注がれたのである。

問1 下線部aに関する以下のできごとA～Cを時期の古い順に並べたとき、正しい組み合わせはどれか、1つ選べ。

- A 五経博士が渡来し、儒教を伝えた。
B 観勒が渡来し、暦法を伝えた。
C 王仁が渡来し、『論語』と『千字文』を伝えた。

- ア A→B→C イ A→C→B ウ B→A→C
エ B→C→A オ C→A→B カ C→B→A

問2 下線部bを示す事物として、不適切なものはどれか、2つ選べ。

- ア クリ林の管理 イ 穀類を蒸す甑の使用 ウ イネのプラントオパール^{イネの化石}の検出
エ ドングリの採集 オ 土掘り用打製石斧の利用 カ 炭化したマメ類・エゴマの出土

問3 下線部cの儀礼として、正しいものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 御霊会 イ 大祓 ウ 祈年祭 エ 放生会 オ 新嘗祭

問4 下線部dに関連して、律令についての説明のうち、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 刑部親王や藤原不比等らによって編纂された大宝令は701年、律は702年に施行された。
イ 民衆には調・庸の税が課せられ、それを都まで輸送する運脚の義務があった。
ウ 6歳以上の民衆には、男女や良民・賤民の別に応じて一定の口分田が与えられた。
エ 民衆は、氏姓・班田の基本台帳である戸籍や、租を徴収するための計帳に登録された。
オ 春に農民に稲を貸し付けて、秋に利息とともに回収する出挙の制度があった。

問5 下線部eに関する説明として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 10世紀の公領や荘園では、田畑の耕作を請け負う田堵が成長し、大規模な経営を行う者も現れた。
イ 頻発する地方の紛争を鎮圧するために、中・下級貴族が検田使・追捕使として派遣された。
ウ 地方に派遣された軍事貴族のなかには、そのまま土着し初期の地方武士団を形成する者も現れた。
エ 11世紀になると、山林原野を開墾して田畑の所有者となった開発領主が、強い支配権をもつようになった。
オ 地方の軍事力が伸長するなかで、任国に赴いた受領直属の武士が現れ、館侍と呼ばれた。

問6 下線部 f に伝わり、加賀藩主寄進の桐箱に収められた荘園研究の重要資料として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 大田文 イ 意見封事十二箇条 ウ 文鏡秘府論 エ 新猿楽記 オ 百合文書

問7 下線部 g のうち紀伊国所在の神護寺領荘園として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 鹿子木荘 イ 太良荘 ウ 垂水荘 エ 東郷荘 オ 栢田荘

問8 下線部 h に起きたできごとの説明として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 藤原清衡により、平泉に中尊寺金色堂が建立された。
イ 法然が、専修念仏の教えを称え、浄土宗が開かれた。
ウ 平氏一門により、厳島神社に『平家納経』が奉納された。
エ 藤原頼通により、宇治に平等院鳳凰堂が建立された。
オ 源義家が清原氏の内紛に介入し、後三年の合戦が起こった。

Ⅱ 次の史料および文章を読み、問1～8に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。

史料 一、諸国 1 人奉行の事

右、2 の御時定め置かるる所は、大番催促・謀叛・殺害人く付けたり。夜討・強盗・山賊・海賊等^cの事なり。しかるに、近年、代官を郡郷に分補し、公事を庄保に充て課し、国司にあらずして国務を妨げ、地頭^aにあらずして地利を貪る。所行の企て、はなはだ以て無道なり。(中略) 早く 2 御時の例に任せて、大番役ならびに謀叛・殺害のほか、1 の沙汰を停止せしむべし。

この史料は「御成敗式目」の一部である。「御成敗式目」は、当時の武士たちの規範である道理や、史料からもうかがわれるように、2 の先例に基づいている。「御成敗式目」が制定された時期は、鎌倉幕府の政治は有力御家人や京下り官僚らの合議によって行われていたが、鎌倉時代の後半^bには得宗専制政治へと推移し、それを契機とするかのように、幕府自体、衰退に向かった。

鎌倉幕府が滅亡すると、後醍醐天皇が建武の新政といわれる政治をおしすすめたが、ほどなく瓦解し、足利尊氏が室町幕府を開いた。17箇条で示されたこの幕府の基本方針^cについては、「3・4父子の行状を以て近代の師となす」とも述べられており、執権として鎌倉幕府の安定化に尽力した父子を範としているところからもうかがわれるように、室町幕府は、鎌倉幕府の後継者としてみずからを位置づけていた。

室町幕府は、南北朝の内乱^dを経て、3代將軍義満から4代將軍義持の頃によく安定を見るが、嘉吉の乱、さらには応仁の乱が起ると、勢威を失った。その後、各地に戦国大名^eが現れるが、これらの制定した分国法を見ると、「御成敗式目」の影響が、なお見られる。本格的武家政権としての鎌倉幕府、それによって制定された法典である「御成敗式目」は、のちのちの武士たちにも影響を与え続けたのである。

問1 空欄1に該当する語句はどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

ア 悪党 イ 守護 ウ 受領 エ 惣領 オ 棟梁

問2 空欄2に該当する語句はどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

ア 右大將家 イ 五摂家 ウ 摂関家 エ 武家 オ 平家

問3 下線部aについての記述として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 御家人からは任命されなかった。
- イ 文治元年に平清盛が朝廷から設置を認められた。
- ウ 下地中分によって、荘園の土地の相当部分を売り払う者も現れた。
- エ 地頭請(地頭請所)の契約で、荘園の管理を放棄する者も現れた。
- オ 紀伊国阿氏河荘民の訴状で、非法を働いている様子が示されている。

問4 下線部bに関連して、13世紀後半から鎌倉幕府滅亡までに起きた出来事の説明として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 鎮西探題が博多に設置され、北条氏一族が任命された。
- イ 永仁の徳政令では、御家人所領の質入れや売買が禁止された。
- ウ 日蓮は、幕府の迫害を受け、佐渡に流された。
- エ 朝廷は、幕府の反対を押し切って、両統迭立を強行した。
- オ 後醍醐天皇は、元弘の変によって、隠岐に流された。

問5 下線部 c に該当するものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

ア 建武式目 イ 建武年中行事 ウ 建武年間記 エ 建武記 オ 建武以来追加

問6 空欄 3・空欄 4 に該当する人名の組み合わせとして、正しいものはどれか、1つ選べ。

ア 時政・重時 イ 義時・時房 ウ 泰時・重時
エ 義時・泰時 オ 時房・泰時 カ 時政・泰時

問7 下線部 d に関して、この時期に起きた出来事の説明として、正しいものはどれか、2つ選べ。

ア 北畠顕家が『神皇正統記』を著した。
イ 観応の擾乱で、足利尊氏と高師直が対立した。
ウ 楠木正行が四条畷で戦死した。
エ 足利義詮が土岐康行を討伐した。
オ 今川貞世（了俊）が奥州探題となった。
カ 近江・美濃・尾張に半済令が出された。

問8 下線部 e に関する説明として誤っているものはどれか、1つ選べ。

ア 征服地などで、検地を施行することがあった。
イ 家臣団統制のために、寄親寄子制を用いることがあった。
ウ 貫高に基づいて、軍役を賦課することがあった。
エ 城下町の繁栄のために、一国一城令を発令することがあった。
オ 出自には、守護や国人や守護代などがあった。

Ⅲ 次の文章を読み、問1～8に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。

中世末から近世にかけての外国文化の影響を考えてみることにしたい。

16世紀後半には、ポルトガルやスペインなどの宣教師や貿易商人の活動が活発に行われ、多くのヨーロッパの文物がもたらされた。とくに宣教師たちは、天文学・医学・地理学などの学問を伝えた。宣教師 1 は金属製の活字による活字印刷術をもたらし、ローマ字による図書の出版も行われるようになった。これらは^aキリシタン版・天草版と呼ばれた。その後、江戸時代の鎖国体制の下では、ヨーロッパとの交流は長崎の出島を通してオランダのみに限られるようになる。

江戸時代には、中国からの儒教などの思想・学問の影響が大きかった。明から亡命した儒学者の朱舜水是 2 藩に招かれた。朱舜水が藩邸に造らせた庭園、後樂園は今も残っている。儒教の中でも朱子学は、封建社会を支える教学として幕府や藩に歓迎された。朱子学の学派はいくつかに分かれ、朱子学を批判して独自の考えを打ち出す儒学者もあらわれるようになった。^b また、その中にはのちの国学に影響を与えるものもあった。

仏教では、明末の政情不安から亡命してきた隠元隆琦が、禅宗の一派である黄檗宗を伝えた。その本山となった山城宇治の万福寺、長崎の 3 はよく知られている。

江戸時代の後半期に入ると、再びヨーロッパの影響が見られるようになる。蘭学の発達である。18世紀の後半には、杉田玄白、前野良沢が『解体新書』を完成させ、その後の蘭学研究を進展させるきっかけとなった。^c 19世紀前半になると、^dオランダ商館医であった 4 が開いた鳴滝塾や緒方洪庵の適塾からは、多くの人材が出た。しかし、その後幕府は、鎖国の秩序を乱すものとして蘭学を規制するようになり、^eヨーロッパの学問は実学としての性格を強めていくのである。

問1 空欄1の人物に関する説明として正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 天正遣欧使節の派遣をすすめた。
- イ 1549年に鹿児島に渡来した。
- ウ フランシスコ会の宣教師であった。
- エ 『日本史』を執筆した。
- オ ドミニコ会の巡察師として来日した。

問2 下線部aとして出版された書名はどれか、2つ選べ。

- | | | |
|-----------|----------|----------|
| ア 『太平記』 | イ 『源氏物語』 | ウ 『日葡辞書』 |
| エ 『伊曾保物語』 | オ 『古事記』 | カ 『万葉集』 |

問3 空欄2に該当する地名はどれか、1つ選べ。

- ア 岡山 イ 水戸 ウ 加賀 エ 会津 オ 米沢

問4 下線部bに関連する説明として誤っているものはどれか、2つ選べ。

- ア 藤原惺窩やその門人の林羅山に始まる林家は、京学と呼ばれた。
- イ 新井白石や室鳩巢は、木下順庵の門人であった。
- ウ 南学の谷時中の門下からは、野中兼山や垂加神道を唱えた山崎闇斎が出た。
- エ 中江藤樹は朱子学を批判し、王陽明の陽明学を重んじた。
- オ 山鹿素行や蕨園塾を開いた伊藤仁斎・東涯は、孔子の思想にもどることを主張した。
- カ 荻生徂徠は古文辞学を唱え、中国古典に本質を求めたが、現実の政治には関与しなかった。

問5 空欄3に該当する寺院名はどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 崇福寺 イ 東海寺 ウ 善福寺 エ 満徳寺 オ 東禅寺

問6 下線部cに関連する説明として誤っているものはどれか、2つ選べ。

- ア 大槻玄沢は入門書である『蘭学階梯』を著した。
イ 大槻玄沢は江戸で芝蘭堂という蘭学塾をひらいた。
ウ 宇田川玄随は『暦象新書』を著し、ニュートンの物理学などを紹介した。
エ 稲村三伯は蘭日辞書である『ハルマ和解』をつくった。
オ 稲村三伯は杉田玄白の門人のひとりであった。
カ 平賀源内は、長崎で学んだ科学の知識などをもとに、様々な分野で活躍した。

問7 下線部dに関連する説明として誤っているものはどれか、2つ選べ。

- ア 鳴滝塾は、長崎郊外に学塾兼診療所として開かれた。
イ 鳴滝塾では、医学や地理・歴史などを教えた。
ウ 鳴滝塾からは、高野長英や伊東玄朴らのすぐれた医者が輩出した。
エ 適塾は、長崎の市中に私塾として開設された。
オ 適塾からは、大村益次郎・福沢諭吉・橋本左内などが育った。
カ 適塾を開いた緒方洪庵は、天文学者・地理学者であった。

問8 下線部eに関連して、空欄4が国外追放処分となったとき、関係者として処罰されたのは誰か、1人選べ。

- ア 麻田剛立 イ 高橋景保 ウ 高橋至時 エ 伊能忠敬 オ 間重富

IV 次の文章を読み、問1～10に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。

近代国家は領土、国民、主権を要素とするが、明治維新以降の近代日本では、これら3要素の確定が時期によって変化をみせた。

まず領土問題では、江戸時代以来、日清両国との間で両属関係にあった琉球^aを日本領とするため、1872（明治5）年に琉球藩を置き、1879（明治12）年には沖縄県を設置した。また、ロシアとの間で帰属が不明確であった樺太^bについては、1875（明治8）年に樺太・千島交換条約^cを締結、樺太をロシアに譲り、日本は千島全島^dを領有することにした。さらに1876（明治9）年には、所属が明確でなかった小笠原諸島を日本領とし、内務省^eの管轄下に置いた。その後、1895（明治28）年の下関条約によって台湾^fを、1910（明治43）年の韓国併合条約^gによって韓国を植民地とし、第一次世界大戦後には、赤道以北の南洋諸島^hが日本の委任統治領となった。

次に国民については、江戸時代以来の士農工商の身分制度を改め、藩主と藩士の主従関係も解消して、四民平等の世としたが、新たに華族・士族・平民という族籍に再編された。アイヌについては、明治政府は和人に同化させる政策をとったため、アイヌの文化は次第に破壊されていった。1899（明治32）年には北海道旧土人保護法を制定したが、破壊の勢いは止まらなかった。また、植民地である台湾や朝鮮では皇民化政策ⁱがとられた。

主権をめぐっては、1882（明治15）年頃、主権在民、主権在君、君民共治などが盛んに議論されたが、1889（明治22）年、天皇主権^jの大日本帝国憲法が制定された。

しかし、このような近代国家日本の3要素は、1945（昭和20）年、ポツダム宣言^kを受諾したことにより、領土が制限されて植民地を失い、翌年には、新たに主権在民の日本国憲法が制定されたことで、国民や主権のありかたも変わった。

問1 下線部 a に関する説明として誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 江戸時代、琉球は薩摩藩を宗主国とし、他方で清国にも朝貢していた。
- イ 琉球藩設置によって、琉球王尚泰は藩王となった。
- ウ 1871年、宮古島島民50余名が台湾先住民に殺害される事件が発生した。
- エ 清国は、宮古島島民を殺害した台湾先住民は「化外の民」とであると主張した。
- オ 1874年、日本は台湾に出兵した。

問2 下線部 b の交渉を担当したのは、旧幕臣で駐露公使であった人物である。その人物は次のうちの誰か、1人選べ。
もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 津田真道 イ 副島種臣 ウ 榎本武揚 エ 西周 オ 森有礼

問3 下線部 c に関連する記述として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 江戸幕府は、最上徳内・工藤平助らに択捉島を調査させた。
- イ 安政の日露和親条約で、択捉島以南を日本領とした。
- ウ 択捉島は千島列島最南端の島である。
- エ 得撫島は日露両国人雑居の地と定められた。
- オ 国後島は千島列島中、最大の島である。

問4 下線部 d に関連する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 内務省は地方行政を任とした。
- イ 内務省は殖産興業に大きな役割を果たした。
- ウ 内務省は土木事業を任とした。
- エ 内務省は警察を任とした。
- オ 初代の内務卿は伊藤博文であった。

問5 下線部 e に関連する記述として誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 台湾統治の官庁として台湾総督府を設置した。
- イ 初代台湾総督は、海軍大将西郷従道であった。
- ウ 日本は、台湾銀行を設立して、産業の振興をはかった。
- エ 後藤新平は、土地制度の近代化を進めるなど、民政に力を注いだ。
- オ 台湾では、台湾民主国の独立を企図するなど、抵抗もあった。

問6 下線部 f の結果として、誤っているものはどれか。2つ選べ。

- ア 韓国皇帝高宗を退位させた。
- イ 「韓国」の国号が消滅した。
- ウ 漢城を京城と改称した。
- エ 統監府を設置した。
- オ 土地調査令を公布し、調査事業を本格化した。
- カ 朝鮮教育令を公布し、同化教育をはかった。

問7 下線部 g は、日本が統治する以前、どの国が統治していたか、正しいものを1つ選べ。該当するものがなければ力をマークせよ。

- ア アメリカ イ ポルトガル ウ フランス エ イギリス オ ドイツ

問8 下線部 h により朝鮮で行われたものとして、誤っているものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ力をマークせよ。

- ア 神社参拝 イ 創氏改名 ウ 五箇条の誓文奉読
エ 日本語教育の徹底 オ 宮城遥拝

問9 下線部 i の原案起草に関わった人物として誤っているのは誰か、2人選べ。

- ア 伊藤博文 イ 山県有朋 ウ 伊東巳代治
エ 大隈重信 オ 井上毅 カ 金子堅太郎

問10 下線部 j に至るまでの出来事を時期の古い順で並べたとき、正しい組み合わせはどれか、1つ選べ。

- ア ヤルタ会談→イタリアの降伏→カイロ宣言→ドイツの降伏→ポツダム宣言
イ カイロ宣言→ドイツの降伏→イタリアの降伏→ヤルタ会談→ポツダム宣言
ウ イタリアの降伏→ヤルタ会談→ドイツの降伏→カイロ宣言→ポツダム宣言
エ カイロ宣言→イタリアの降伏→ドイツの降伏→ヤルタ会談→ポツダム宣言
オ ヤルタ会談→ドイツの降伏→イタリアの降伏→カイロ宣言→ポツダム宣言
カ イタリアの降伏→カイロ宣言→ヤルタ会談→ドイツの降伏→ポツダム宣言

V 次の文章および史料A・Bを読み、問1～8に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。

前近代から現代にいたる、日本社会の中の女性の位置づけや権利について考えてみたい。

中世の武家社会では、家内における女性の権限の強かったことが知られているが、近世になると、軍役^aにより主君に奉公する武家の世界を中心に、最年長男子の単独相続が一般化し、女性が家や財産を継ぐことはできなくなっていった。風俗・世相の担い手としての女性がとりあげられることはあっても^b、政治や経済活動の表舞台にでることが少なくなり、家のなかをトラブルなく治めていくことが女性の義務とされたのである。史料Aは、そのような状況を背景として記された貝原益軒^cの教訓書のひとつであるが、同じ著者とされる『女大学』に比べ、女性の自発的な修養や家の経営の大事さを具体的に説いている。

史料A 夫^{それ}女子は、十歳の時より、かつて外へ出^{いだ}すべからず。手習、読もの、教訓の文など見ならひ、其後桑をとりて、蚕^{やしなひ}を養、機織^{うみ}、裁物^{つむぎ}、績^{うみ}、絹^{つむぎ}、又は先祖の祭り事の、手伝ひたすくる作法など稽古^{さて}して、扱^{うい}十六の歳、初筓^{ういかざし}を祝^{いわい}、廿^{はたち}歳になりて嫁入する。(中略)一たび夫に連添^{つれそ}の後^うは、則此所^{すなはち}に終る身也と、初より合点して、よく舅姑に、こゝろを尽して仕ふべし。見限られさらるゝ事は、其身は云に及ばず、親兄弟一類^{つら}までの面よごし也。

近世まで慣行にすぎなかった女性の地位や権利に関しては、欧米にならった近代化を進めるにあたり、法律として整備する必要に迫られた。史料Bは、当時の女性のおかれた状況への批判と新たな法律の素案として、森有礼が1874・75年に 1 へ連載したものである。それは、夫婦の権利義務について「おおむね従来の慣習による」としつつも、女性の立場と自主性に配慮した内容であった。しかしながら、1898年に施行された民法は、男性家長がもつ権限が著しく強いものであった。その後、大正時代の女性解放運動・婦人参政権運動^dをへて、太平洋戦争後に実現した男女平等を規定する新憲法のもと、民法もその主旨にそって改められたが、なお社会的な女性の不利益はさまざまに残存した。1985年公布の男女雇用機会均等法^eや、「夫婦別姓」をめぐる近年の議論も、その解決を図ろうとするものである。

史料B 今わが邦^{くに}婚交の習俗をみるに、夫ほしいままに妻を役使して、その意に充たざるがごとき任意にこれを去るも、国法かつてこれを律^くさず。これをもって、権利義務その間に行なわるを得ず。名は夫婦たりといえども、その実を距^{へだ}る甚だ遠し。(中略)外国に行なわるところの婚姻法をほぼ参考して、わが邦将来婚姻の律法を設くるの階梯^{かいてい}に供せんと欲し、拙案を条例^{ちやくあん}して恭^{うやうやし}く諸君の高議を仰ぐ。(中略)書面をもって左の箇条を申し出るを要す。
第一 婚姻をなすべき双方の願意、その共欲に出でて、相互の承諾間違いなきこと。(以下略)

問1 下線部aとして幕府に対する諸大名の負担とみなされたものとして、誤っているものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- | | | |
|--------------|-------------|-------------|
| ア 城郭のお手伝普請 | イ 宿駅への人馬の提供 | ウ 改易時の城地受取り |
| エ 河川改修のお手伝普請 | オ 参勤交代 | |

問2 下線部bが描かれた作品として誤っているものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- | | | |
|--------------|------------|-----------|
| ア 『夕顔棚納涼図屏風』 | イ 『心中天網島』 | ウ 『夜色楼台図』 |
| エ 『婦女人相十品』 | オ 『風俗四季歌仙』 | |

問3 下線部cの著作物はどれか、1つ選べ。

- | | | |
|----------|----------|------------|
| ア 『大和本草』 | イ 『武家事紀』 | ウ 『男子女子前訓』 |
| エ 『稽古談』 | オ 『都鄙問答』 | |

問4 史料Aに記された内容や、江戸時代の女性についての説明として誤っているものはどれか、2つ選べ。

- ア 外出を制限された武士や有力な町人・百姓の女性に対し、農村では娘宿など男女交際の方があった。
- イ 女性は、嫁入り先の家のなかで、義父・夫・男子の3代に仕える「三従」が心構えとされた。
- ウ 食事のしたくのほか、機織り、裁縫などが女性の仕事とされ、祖先祭祀は男性に独占されていた。
- エ 嫁入り後の女性は跡つぎを生むことが期待され、男子が得られない場合は他の女性を迎えることもあった。
- オ 離婚された女性は親兄弟・親族におよぶ恥とされ、三行半を持っていても再婚はできなかった。
- カ 夫との離縁を望む女性が逃げ込み、尼として修行をする縁切寺として、鎌倉の東慶寺が有名であった。

問5 空欄1に該当する出版物として、正しいものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア『時事新報』 イ『明六雑誌』 ウ『改造』 エ『女学雑誌』 オ『郵便報知新聞』

問6 下線部dに関する説明として、誤っているものはどれか、2つ選べ。

- ア 明治末に発行された雑誌『青鞥』は、家族制度や貞操など女性問題について論じる場となった。
- イ 平塚らいてうらが設立した新婦人協会は、治安警察法第5条の撤廃運動を展開した。
- ウ 政府および帝国議会は、1922年に女性の政治集会への参加を認めた。
- エ 山川菊栄は、新婦人協会の中心人物として長く活躍し、女性の解放運動に尽力した。
- オ 婦人運動家の伊藤野枝は、無政府主義者幸徳秋水とともに殺された。
- カ 昭和に入り、女性に参政権を与える法案が衆議院で可決されたが、貴族院の否決で実現しなかった。

問7 下線部eを公布した内閣の首相で「戦後政治の総決算」を唱えたのは誰か、1人選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 福田赳夫 イ 中曽根康弘 ウ 竹下登 エ 鈴木善幸 オ 大平正芳

問8 史料Bに記された内容や、明治時代の女性についての説明として、誤っているものはどれか、2つ選べ。

- ア 森有礼は、夫が妻を気に入らなければ自由に離縁できることを問題視していた。
- イ 森有礼は、外国法を参考とせず、日本の慣行をもととした法制の必要性を説いた。
- ウ 森有礼は、結婚は両性の合意に基づくべきものと主張した。
- エ 女性の教員養成を目的として、女子師範学校が各府県に設立されていった。
- オ 女性の文学者があらわれ、『文学界』などの雑誌に作品が掲載されるようになった。
- カ 女性の洋装がしだいに一般化し、新しい女性のありかたはモガと呼ばれた。

〔以下 余白〕